

「笑顔あふれるまち 飯南町」

いーなん



飯南町広報 平成30年4月20日 No.160



平成30年度施政方針

「飯南町で暮らすことを
幸せと実感できる」

まちづくり

ポンチョバス発進!

2018

4
月号

inan public
relations magazine

2月16日、町内小学校の4年生を対象に「二十歳の君に」2分の1成人式が開催されました。二十歳の時にはプロ野球選手になっている「看護師や獣医の勉強をしている」など、それぞれの夢を語る児童たちを頼もしく思うとともに、夢が叶うようしっかりと応援しなくてはならないと、改めて思ったところでした。

本町の地方創生の取り組みは、総合戦略の計画期間の半ばを過ぎようとしています。この間、さまざまな取り組みを進めてきた結果、宝島社が発行する「田舎暮らしの本（2月号）住みたい田舎ベストランキング」で、「若者、子育て、シニア」の3部門で引き続き中国エリア第1位を獲得しました。

しかし、本町の経済情勢は依然として厳しく、あらゆる産業分野で人材が不足しています。

幅広い視野を持ち、そして地道に、職員一丸となって全力で取り組みます。「飯南町で暮らすことを幸せと実感できる」まちづくりのために。

平成30年度施政方針

「飯南町で暮らすことを幸せと実感できる」まちづくり

飯南町長
山崎 英樹

主要施策

自治・協働

- 協働のまちづくりの推進
- 小さな拠点の形成
- 地域おこし協力隊・集落支援員の配置

「集落実態調査」を実施し、その地域の今を見える化し、住みなれた地域で安心して暮らせる地域づくりにつなげます。また、次世代を担う若者が、積極的に地域づくりに関わる事例も芽生えており、その活動を支援します。

来島拠点複合施設は、建物の設計や造成工事などに着手します。

教育・文化・子育て

- 子育てしやすい環境づくり
- 縁結びの支援
- 保小中高が連携した学校教育の充実と飯南高校支援
- 平等に暮らせる社会づくり

桜ヶ台保育所で「産休明け保育」を導入するため、必要な施設整備を行い、保育士の体制が整い次第開始します。また、保育士確保のため、「就職支度金」「修学助成」などの制度を創設し、社会福祉協議会と連携して保育士の確保を進めます。

縁結びについては、出会いの場づくりの交流イベントや独身者のセクソスアップセミナーの開催、結婚祝い金などで支援します。保小中高一貫教育の第2ステージとして、保育所から大学・専門学校まで、将来を見据えた教育と人材育成を進めるため、教育魅力化推進員「統括プロデューサー」を配置し、学校・家庭・地域・行政が一体となって教育を推進し、教育移住につなげます。

産業

- 農林業の振興
- 観光の振興
- ふるさと応援寄附金
- 商工業の振興

「飯南米」の品質向上と有利販売に努め、知名度向上につなげます。また、「飯南町1農場1担い手」の実現に向け、「農業担い手支援センター」を中心に、集落営農の広域連携や農業法人の設立を推進します。

園芸振興は、上赤名・頓原地区の新規就農者が取り組む、パブリカ・トマトなどの生産拡大をリースハウス制度で支援します。また、新規就農者が農業者として定着できるよう、経営・技術・生活面の指導、相談役として、「新規就農アドバイザー」を配置します。

畜産振興は、改修が完了した堆肥センターで良質な堆肥を製

ます。「人権施策推進基本方針」を改定します。策定から10年が経過しているため、改めて町民意識調査を行い、人権問題に対する意識の変化を把握し、差別のない明るい社会づくりを進めます。

造し、利用促進を図ります。全国和牛能力共進会は、次期全共に向けて、産子の保留、若手育成を進めます。

鳥獣被害防止対策は、防護柵設置や捕獲器導入などを進めます。また、狩猟免許の取得を支援し、後継者の育成・確保に努めます。

林業振興は、「森林資源活用による林業の魅力づくりプロジェクト」を立ち上げ、資源の実態調査、市場調査、商品開発に取り組めます。

観光振興は、7月の出雲大社神楽殿の大しめ縄のかけ替えにあわせ、燃りあわせ作業や奉納などを全国に向けてPRし、10月に町内で開催される「全国相撲甚句大会」とあわせて、町の歴史文化や地域食材、観光資源などを情報発信し、知名度向上につなげます。

平成29年度のふるさと納税額は、過去最高の1億2千万円となる見込みです。今後もより一層、地場産品の魅力をPRし、産業の活性化に繋がります。

商業振興は、若者の起業や就業を推進するため、産業支援センターなどにより、創業前後を幅広く支援します。また、町内企業などと連携して「学生ツアー」を実施し、あらゆる産業分野の人材確保を進めます。



保健・福祉

- 健康づくりの推進
- 地域医療の充実
- 地域包括ケアの推進
- 地域福祉の充実
- 高齢者などにやさしい環境づくり

地域ぐるみの健康づくりを重点に取り組みます。新たに、健診受診率が前年と比較して高くなった地区にも特別賞を贈り

ます。働き盛り世代の健康づくりは、保健師が事業所を訪問して相談支援を行い、企業と従業員が一体となって、健康に働ける環境づくりや生活の質の向上につなげます。

NHKの「夏期巡回ラジオ体操」が、8月16日に頓原町民グラウンドで開催されます。開催を契機に、健康への意識を高め、生活習慣の改善やスポーツ活動の促進に努めます。

医療では、角田院長が掲げる「総合医による地域医療」を推進。継続的な課題である医療人材の確保に取り組めます。また、福祉施設の介護職員の不足も課題となっています。町内福祉施設代表者で構成される「福祉施設協議会」と「人材確保支援センター」が連携して人材確保を進めます。

「長生き体操」は、現在41地区465人に広がり、健康づくり・介護予防事業として定着しています。体操の合間には、お口の健康づくりや栄養、食生活、認知症予防の啓発を盛り込み、「運動、栄養、口腔の三本柱の介護予防」を推進します。

高齢者が安全・安心に生活を続けられるよう、緊急通報システムの充実、冬期宿泊センターなど住まいの確保、大雪時の除雪費支援など、小さな拠点づく

生活環境

- 定住の促進
- 公営住宅の整備
- 公共交通の充実
- 簡易水道・下水道の整備
- 道路網の整備
- 中山間地域整備事業
- 情報通信施設の整備
- 防災行政無線施設の整備
- 携帯電話不感地域解消
- 消防防災対策の充実

昨年度、定住支援センターを通じてUターンした人は、50名を超えました。相談会等で積極的に情報を発信し、誠意と人柄をもつて対応し、人が人を呼ぶ好循環につなげます。また、人材確保支援センターは、「人材確保ツアー」の開催や、町内出身の進学者や中国地方の大学や短大、専門学校などと信頼関係を築き、人材の確保を進めます。

公営住宅整備は、建設中の新衣掛団地1号棟に続き、2号棟の建設と3号棟の設計を行います。

公共交通は、昨年10月から頓原・来島地区でデマンドバスを本格運行し、志々・赤名地区では、実証運行を開始しました。

引き続き、利用実態や課題を整理し、利便性の向上に努めます。

水道施設は、佐見地区水道整備、中央監視装置の整備移転などを進め、下水道施設は、合併処理浄化槽の設置を進めます。

道路整備は、改良中路線の進捗を図り、駐車場川原線、頓原寺沢花栗線は工事に着手し、松本酒谷線は設計に着手するほか、橋梁長寿命化、法面対策、除雪の車輛の更新など、生活道の安全確保を進めます。

情報通信施設の整備として、インターネットの光回線への更新工事を赤来地域から着手します。また、上赤名北野地区の携帯電話の通信環境を改善します。

防災行政無線施設は、Jアラートをはじめ、災害時の避難指示、勧告といった緊急情報の伝達に有効な手段であることから、音声の届きにくい箇所に増設します。消防施設は、消防ポンプ積載車2台を更新します。

一般会計 79億5,448万円

前年度の当初予算と比較して5.8%の増額となりました。歳出では、超高速情報通信網(光)や来島拠点複合施設整備などの大規模事業の開始に伴い、普通建設事業費が昨年に比べて増加しています。これに伴い、歳入では、普通建設事業費の実施のために借り入れる町債(借金)の発行額が増加しています。

歳出の状況

公債費の歳出全体に占める割合は14.5%で、昨年度から1.0%減少しています。本年度も町債の繰上償還を行い、来年度以降の公債費の減少に努めます。普通建設事業費の割合は27.5%で、昨年から4.5%増加しています。定員管理計画に基づいた適切な職員数や事務経費の節減に努め、効率的な事業実施、健全な行財政運営を進めます。繰上償還…当初予定した期限を待たずに町債(借金)を返済すること

特別会計 総額 29億6,247万円

簡易水道事業は、継続して既存施設の維持修繕を行い、佐見地区の営農飲雑用水の整備、中央監視装置の移転整備などを実施します。下水道事業では既存施設の維持修繕、合併処理浄化槽の設置を継続して行います。病院事業では、各種医療機器を更新します。

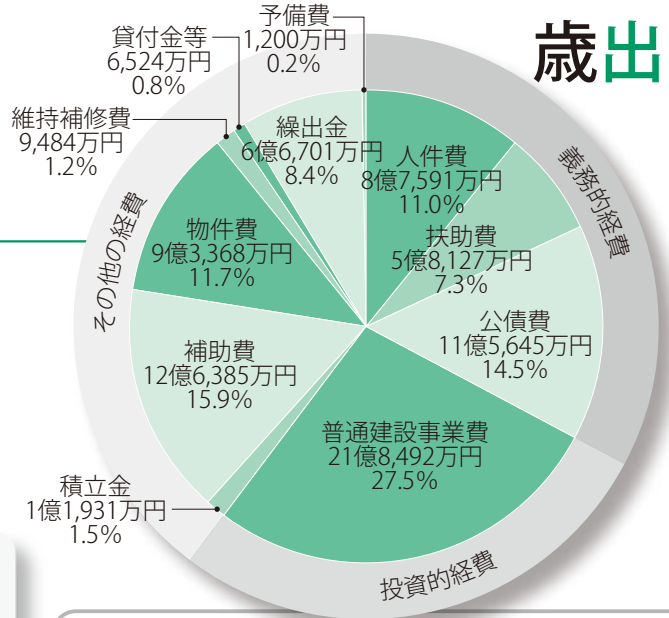
特別会計名	予算額	前年度比
国民健康保険事業	6億6,500万円	6.7%減
後期高齢者医療事業	1億7,262万円	5.6%減
簡易水道事業	4億3,589万円	21.4%減
下水道事業	4億471万円	0.3%減
介護保険サービス事業	3,320万円	2.4%増
病院事業	12億5,105万円	5.7%減

町民1人当たり・1世帯当たり

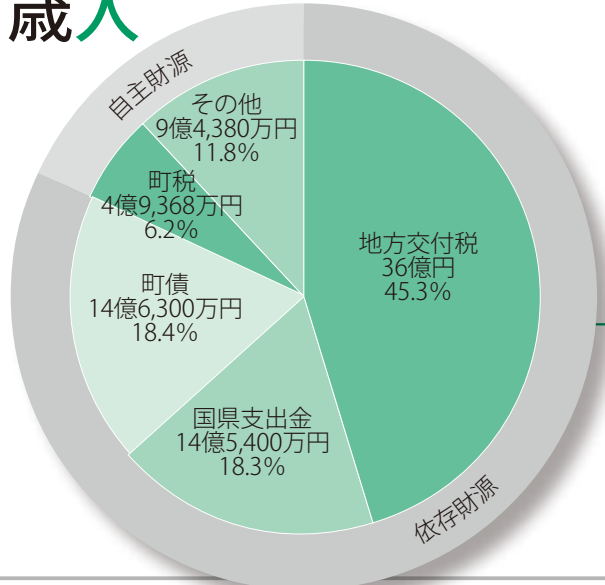
平成30年4月1日現在 人口:4,940人 世帯:2,041戸

●使用する費用	●負担する税金
1人当たり:161万円	1人当たり:10万円
1世帯当たり:390万円	1世帯当たり:24万円

平成30年度 予算の概要 歳出



一般会計・特別会計合わせて 109億1,695万円 [前年度比1.7%増] 歳入



平成30年度一般会計当初予算は、収入の確保が極めて厳しい状況で、平成21年度以来9年ぶりとなる財政調整基金の2千万円の取り崩しのほか、減債基金を8千万円取り崩す予算としています。(基金・貯金) 平成30年度末の実質公債費比率は11.6%となる見込みで、18%を超えず健全な財政運営を保てる見込みですが、歳入の約半分を占める普通交付税の減少にも対応できるように、一層の財政の健全化に努めます。

歳入の状況

歳入全体に占める地方交付税や国県支出金、町債などの依存財源の割合は82.0%で、歳入の大部分を依存財源に頼る状況となっています。町債(借金)については、昨年度と比較して約5億4千万円増加(昨年の約1.6倍)しています。歳入の大部分を占める普通交付税は、町合併に伴う加算分が段階的に縮小しており、今後さらに減少していく見込みです。

一般会計予算の主な使い道 ★新規事業

総務関係 20億688万円	
CATV事業	6,140万円
国道54号活性化事業	164万円
定住促進対策事業	1億107万円
地域おこし協力隊活動事業	1,499万円
飯南高校への支援	3,368万円
小さな拠点づくり推進事業	888万円
集落支援員活動事業	1,614万円
志津見ダム周辺環境整備	3,319万円
自治振興組織等の活動支援	863万円
森林活用地方創生推進事業★	2,100万円
地域交通対策事業	9,064万円
情報通信基盤整備事業(光ケーブル)	6億6,901万円
携帯電話エリア整備事業(上赤名)★	7,342万円
来島拠点施設整備事業	1億3,565万円
人材確保支援センター運営事業	200万円

商工観光関係 3億1,756万円	
創業支援事業	1,736万円
大しめ縄の町ブランド推進事業	439万円
森林セラピー推進事業	489万円
観光協会運営事業	3,860万円
観光交流施設の維持管理	1億7,231万円

民生関係 12億1,357万円	
老人ホーム入所措置	1億838万円
障がい者福祉の推進	1億9,507万円
高齢者生活福祉センター屋根改修★	2,410万円
出会い創出事業	562万円
子ども・子育て支援対策事業	441万円
児童手当支給	5,573万円
保育所運営の推進	2億2,925万円
保育士確保対策★	250万円
子ども等医療費助成事業	1,537万円

農林水産業関係 7億2,526万円	
農作物鳥獣被害防止事業	1,972万円
園芸振興対策事業	644万円
中山間直接支払事業	1億4,416万円
売れる米づくり事業	275万円
環境保全型農業直接支援対策事業	1,657万円
リースハウス団地整備事業	3,957万円
農産物6次産業化支援事業	1,150万円
多面的機能支払事業	9,487万円
農業次世代人材投資事業	825万円
中山間地域総合整備事業	2,493万円
農道の整備	5,853万円
林道の整備(草峠線)★	2,510万円
農地の整備	2,451万円
国土調査事業	5,112万円
木質バイオマス推進事業	505万円
造林事業の実施	4,187万円

衛生関係 6億9,898万円	
医療従事者確保対策事業	1,219万円
感染症予防事業	1,612万円
健康増進事業	3,308万円
子育て支援(乳幼児健診等)	829万円
飯南病院の運営資金	3億2,524万円
ゴミ処理運営経費	1億130万円

土木関係 10億9,946万円	
町道除雪対策	7,737万円
橋梁の長寿命化	2,290万円
法面等災害防除事業	1,750万円
トンネル長寿命化★	400万円
町道松本頓原線の整備	7,430万円
町道頓原長谷線の整備	1億80万円
通学路の整備	4,610万円
町道角井境線の整備	5,000万円
町道頓原寺沢花栗線の整備	2,440万円
町道八神千原線の整備	5,120万円
町道駐車場川原線の整備	2,280万円
町道松本酒谷線の整備★	1,500万円
町道リフレッシュ事業	3,150万円
住宅店舗リフォーム等助成事業	180万円
木造住宅耐震診断・改修費助成	172万円
公営住宅建設事業	1億8,960万円

教育関係 3億8,528万円	
教育魅力化推進事業★	522万円
学習支援館運営事業	1,604万円
小学校教育の推進	7,594万円
中学校教育の推進	4,464万円
公民館活動の推進	3,532万円
放課後子どもプラン	715万円
学校給食の支援	4,966万円

消防関係 2億7,393万円	
消防団活動費等	3,734万円
消防ポンプ積載車整備	1,958万円
防災行政無線施設	6,823万円

議会関係 6,209万円
公債費 11億5,947万円
予備費 1,200万円

★新規事業



次世代を担う若者自らが地域のために頑張っています

世代を超えて 若者スポーツ大会 3/25日

頼原小学校体育館を会場に、若者スポーツ大会が開催され、中学生・高校生・大学生・社会人など約40人がソフトバレーの熱戦を繰り広げました。

主催したのは、平成28年度の飯南高校卒業生(有志が、「飯南町に貢献したい」という思いから立ち上げた団体「from I」。昨年夏には、小学生との交流イベントを企画開催。代表の津和野勇貴さんは「交流の輪をもっと広げていきたい」と話していました。

新産業創出支援 事業募集

新たな産業創出から雇用の拡大を図るため、町内で新産業・新商品の創出をする団体等に対し、事業に必要な経費を補助します。

対象 町内の中小企業、NPO法人、町商工会員など

対象事業 ①雇用創出(ハード事業) 補助率2分の1(上限500万円) 融資による借入2分の1以上が必須条件

②新商品開発・販路開拓など(ソフト事業) 定額50万円

申込締切 5月31日(木)

選考方法 6月中旬開催予定の審査会で決定

※詳細は、町ホームページまたは左記までお問い合わせください。

問合せ 産業振興課 電話 76・2214

写真						
名前	丸山 誉宝	北村 美和子 NEW	上野 慶子 NEW	栃木 健吾	加集 淳子	山本 かおり
担当業務	飯南高校魅力化、キャリア教育、生徒募集		飯南町学習支援館の管理運営、学習指導		宇山地区での特産品開発、地域行事の運営	国道54号沿線の活性化対策
所属課	教育委員会			地域振興課		

写真					
名前	安達 美帆	林 正知 NEW	板木 ひろみ	原田 俊行	原田 朋子
担当業務	大しめなわ創作館での創作活動、PR活動		森林セラピー事業の企画、運営	飯南町観光協会での観光事業	加田の湯を拠点とした交流活動
所属課	産業振興課				住民課

まちを元気に！ 地域おこし協力隊

町内のさまざまな地域課題に取り組む「地域おこし協力隊」の活動を紹介します。

「地域おこし協力隊」は、地域外の人材を受け入れ、地域の課題解決に取り組みながら、隊員本人のその後の定住定着を図る制度です。
町ではこの3月、3名の隊員が任期を終え、全員が町内で引き続き勤務をしています。また、4月からは新たに3名の隊員を迎え、総勢11名の隊員が活動しています。

G Wは国道54号でゆったり・のんびり 道の駅めぐり

春の息吹を感じながら、国道54号沿線をドライブしませんか。
道の駅順原に併設する、大しめなわ創作館では、7月の出雲大社神楽殿の大しめ縄かけ替えに向けて、飯南町注連縄企業組合が大しめ縄を製作中。また、道の駅赤来高原では、レンタサイクルで春の飯南の風を感じるサイクリングを開催します。

54号線沿線の町外のイベント

●雲南市／「子安観音祭」5月3日
（吉田町内）可愛い稚児たちが町内を練り歩きます。



三度ワイナリー「春のワイン祭」



大しめなわ創作館

●三次市／「春の三次ワイン祭」5月3日～6日（三次ワイナリー）神楽などのステージイベント満載です。

●世羅町／「藤の花まつり」5月上旬（平田観光農園）鮮やかな彩りに魅了されます。

54号沿線の各道の駅のお得なクーポンが付いた周遊ガイドマップを、各施設で配布しています。
道の駅に立ち寄りながら、春の54号沿線をお楽しみ下さい。

■問合せ

中国地方整備局

電話082・511・6342

目 覚めよカラダ！ 軽運動教室

平成26年から来島基幹集落センターで、しまねコーチーズさんを講師に迎え、軽運動教室を開催しています。

参加者からは、「楽しく時間が過ぎる」「毎月とても楽しみに待っている」「いろいろなゲームや体操があったりして楽しい」「無理しない方法で満足！」といった声も聞かれ、とても楽しい雰囲気での運動ができる教室です。

今年度も、毎月実施していますので、興味のある方はぜひ参加してみてください。



運動しながら笑顔にもなれる教室

日時 毎月第3金曜日

15時～16時30分

会場 来島基幹集落センター

持ち物 室内シューズ、タオル、水分補給用ドリンク

■問合せ

来島支所 電話76・2393

保健福祉課 電話72・1770

新 婚生活を応援します 結婚新生活支援事業

対象

平成30年4月1日～平成31年3月31日の間に婚姻し、夫婦共に婚姻日における年齢が34歳以下で、所得の合計が340万円未満の夫婦

対象経費

①婚姻に伴う住宅の取得または賃貸にかかる経費

②婚姻に伴う引っ越しにかかる経費（運送業者への支払いや引っ越しにかかる実費に対し支給）

金額 1世帯当たり30万円（上限）

■問合せ

住民課

電話76・2213

楽しさいっぱい！ 図書館探検

飯南町立図書館

2018年・第60回 こどもの読書週間
標語「はじまるよ！本のカーニバル」
4/22(月)～5/12(土)



飯南町立図書館オリジナルキャラクター「ぶっくん」

折紙紙工作&展示
見て・作って・折紙紙の世界
見て楽しい作品展示のほか、実際に折紙紙ができるコーナーをご用意。自分で折った作品も展示して、みんなに見てもらおう！

飯原公民館合同企画

第2回 みんなで作ろうこのぼり

昨年に続き、今年も飯原公民館と力を合わせてオリジナルの「このぼり」を制作します。

日時 5月3日(木)9時～

会場 交流センターとんぼら

対象 町内小学生（参加費無料）

ゴールデンウィークの開館情報

休館 5月3日(木)、4日(金)

開館 5月5日(土)、6日(日)

■問合せ

飯南町立図書館

電話72・0301

平成30年度 飯南町行政機構・職員配置表

町長 山碕 英樹 副町長 塚原 隆昭 教育長 矢飼 斉

議会事務局 電話76-2190 【事務局長】 田中慎二 〈主な仕事〉議会運営・監査委員会の補助事務		
出 納 室 電話76-2215 【会計管理者】 門脇貴子		
出 納 担 当	三嶋一生	〈主な仕事〉出納事務・指定金融機関・決算
総 務 課 電話76-2211 【課長】 那須和博 【課長補佐】 安部 農		
総 務 担 当	湯立美智恵・烏田範昭・星野 崇	〈主な仕事〉例規・庶務・秘書・消防・防災・選挙・財産
行革・情報担当	信藤 晃・景山瑛太	〈主な仕事〉行政行革・情報・入札
派 遣 職 員	立脇峰子(雲南市・飯南町事務組合)・吾郷紘平(地域活性化センター)・小村美紗子(島根県市町村課)・景山雄斗(雲南広域連合)	
企画財政課 電話76-3941 【課長】 大谷哲也		
企 画 担 当	三島光暁・岡田敬依子	〈主な仕事〉企画・総合振興計画・地方創生・過疎対策・広域行政・土地利用・広聴広報・統計
財政管理担当	難波慎司・大谷剛史郎	〈主な仕事〉予算・町債・基金・地方交付税
地域振興課 電話76-2864 【課長】 那須忠巳 【課長補佐】 高木ゆかり		
地域振興担当	三島啓太・三宅一樹・岡本光世(任期付職員) 鎌田恭輔(島根県からの派遣職員)	〈主な仕事〉地域振興・ふるさと納税・地域おこし協力隊・国道54号活性化対策・志津見ダム周辺地域活性化対策・飯南高校支援
定 住 担 当	大江基博(任期付職員)・永田千鶴子(任期付職員)	〈主な仕事〉定住対策・人材確保支援センター
産業振興課 電話76-2214 【課長】 森山 篤 【課長補佐】 石飛幹祐 (観光協会) 【課長補佐】 田村 剛 (農業委員会)		
農業振興担当	三上憲之・澤田和彦・渡邊信太郎 岡田 円(任期付職員)・清水麻美(任期付職員)	〈主な仕事〉農業振興・特産園芸・果樹振興・畜産振興
林 業 担 当	山内孝之	〈主な仕事〉林業振興・有害鳥獣対策
観光振興担当	深石尚志・竹田佑子	〈主な仕事〉観光振興・森林セラピー・地域情報発信・観光農園
商工・新産業振興担当	林 泰宏	〈主な仕事〉商工振興・新産業・企業誘致・特産品販路拡大・都市交流
住 民 課 電話76-2213 【課長】 藤原清伸 【課長補佐】 内田寿一 【課長補佐】 田村 正		
税 務 担 当	安田健一・小林 亘	〈主な仕事〉税務・国保料徴収・後期高齢者保険料徴収
町民生活担当	野津史昭・後長隆哉・海田竜一・前川由紀・山田弘幸 井手上薫(任期付職員)	〈主な仕事〉保育所・子育て支援・交通安全・環境衛生・戸籍・住民基本台帳・国民年金・地域交通・窓口事務
来 島 支 所 電話76-2393	田村 正	〈主な仕事〉窓口事務・地域振興
派 遣 職 員 (社会福祉協議会)	【所長】 景山直美(桜ヶ台保) 奥野陽子(桜ヶ台保)・原 美佳(赤名保)・山根寛子(赤名保)・岡田雅子(来島保) 飯島恵美子(赤名保)・空岡悦子(桜ヶ台保)・藤原智恵子(来島保)	
建 設 課 電話76-3942 【課長】 和田真一 【課長補佐】 関島哲郎		
土 木 担 当	奥野憲孝・藤原将洋・朝津直哉	〈主な仕事〉公共土木・農林土木・災害復旧・公営住宅
上下水道担当	渡邊博司・岡田祐也・勝部真乃介	〈主な仕事〉水道・下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽
教育委員会 電話76-3944 【次長】 永井あけみ 【課長補佐】 田部宏幸		
学校教育担当	吉井健司・安部亜裕子・田原理映 片岡千修(県教育委員会からの派遣職員)	〈主な仕事〉庶務・教育行政総括・学校教育事務・給食会
社会教育担当	景山貴文・川上 壮(県教育委員会からの派遣職員)	〈主な仕事〉社会教育・社会体育・人権教育・文化振興・文化財保護
校 務 技 術 員	田村利哉(来島小)・岸野富夫(赤名小)(再任用職員)	
頓原基幹支所 電話72-0311 【基幹支所長】 藤原一也		
町民生活・土地改良担当	渡邊典子・藤原さくら	〈主な仕事〉窓口事務・地域振興・土地改良区
地籍調査担当	塚原 誠・松本 稔(再任用職員)	〈主な仕事〉地籍調査
志 々 支 所 電話73-0001	山中律子	〈主な仕事〉窓口事務・地域振興

保健福祉課 電話72-1770 【課長】 小玉千恵 【課長補佐】 本間康浩		
保健・医療担当	熊谷かおり・石飛悦子・安田香阿里・吉田育枝 川本夕紀子・空岡 舞・石橋佐知子	〈主な仕事〉国保給付・後期高齢給付・乳児こども医療・母子保健 予防接種・健康づくり・住民健康管理
地域包括支援 センター	嘉田将典・田村素子・田中多美	〈主な仕事〉高齢者の総合相談・介護予防・認知症予防
福 祉 担 当	森山雄三	〈主な仕事〉福祉の総合的事務・敬老事業・介護保険・民生児童委員会
地域包括ケア 推進担当(事務局)	[事務局] 小玉千恵(兼務)・本間康浩(兼務)	〈主な仕事〉医療対策・医療従事者確保対策・保健医療福祉 介護の連携・地域包括医療ケア推進に関すること
福祉事務所 電話72-1773 【所長】 長島淳二		
福 祉 担 当	三島智恵・田邊郁也・深石純生	〈主な仕事〉生活保護・障がい福祉・高齢者と児童に関する措置 母子(寡婦)父子福祉

飯南病院 電話72-0221 【院長】 角田耕紀 【副院長】 三上隆浩 【副院長】 永澤篤司 来島診療所 電話76-2309 【所長】 石橋和樹 (兼務)		
診 療 部	[診療部長] 石橋和樹	内田優子・松本賢治 〈主な仕事〉診療
看 護 部	[看護部長] 須山奈穂子 [看護師長] 加瀬部初恵 大上千恵	高橋香織・内田亜紀・渡邊洋子・藤原真理子・吉川礼子 湯丹百合子・石田裕美・森口由美子・三島由美・森田尚美 市山雅史・木村純子・影山寛美・三嶋圭子・明見葉子 景山友美・舩田由里香・大上綾子・伊藤美亜・長岡恵美 坪倉千恵・熊谷美樹・田部沙弥・森山あずさ・平野 愛 上田幸子・戸田秀子 〈主な仕事〉看護・診療介助
医療技術部	[医療技術部長] 竹田和希 [医療技術部次長] 大坂健一 [科長] 松村治香	田部裕子・古林恵美・土井七海・奥野裕衣・田辺伶奈 那須有美子・森山智博・上田哲也・長岡嵩斉 〈主な仕事〉薬剤・栄養・放射線・検査 リハビリ・歯科衛生
地域医療部	[地域医療部長] 石橋奈美	山戸由紀 〈主な仕事〉地域連携・健康管理
管 理 部	[事務長] 高橋克裕	三上大輔・和田泰裕 〈主な仕事〉庶務・会計・医事・施設管理

訪問看護ステーション 電話72-1781		
	穴戸陽子・米原美水・安田一平	〈主な仕事〉訪問看護・訪問リハビリ

医師紹介

4月1日付で、飯南病院へ着任した医師を紹介します。



竹田和希

派遣職員紹介

4月1日付で、島根県から派遣された職員を紹介します。



鎌田恭輔
地域振興課

退任・退職者

3月31日付で、次の職員が退任・退職しました。

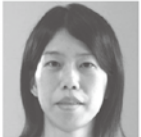
岸野富夫 教育委员会主任校務技術員
穴戸紫乃 飯南病院主任看護師
岸菜穂子 飯南病院主任看護助手

新規採用職員

4月1日付で、次の10人を採用しました。



三宅一樹
地域振興課



田原理映
教育委員会



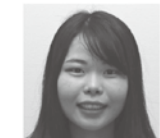
勝部真乃介
建設課



景山瑛太
総務課



田辺伶奈
飯南病院管理栄養士



土井七海
飯南病院臨床検査技師



森山あずさ
飯南病院看護師



平野 愛
飯南病院看護師



清水麻美
産業振興課(任期付採用)



井手上薫
住民課(任期付採用)

新規嘱託職員等



梶川光夫
教育魅力化推進員



北村美和子
地域おこし協力隊員
(飯南高校)



上野慶子
地域おこし協力隊員
(学習支援館)



林 正知
地域おこし協力隊員
(大しめなわ創作館)



●飯南病院 電話72・0221 ●来島診療所 電話76・2309 ●保健福祉センター 電話72・1770

飯南町で過ごした6カ月
飯南病院での勤務が始まったのは平成29年10月。離島や山間地で働ける医師になりたいと思い、島根県立中央病院で総合診療科を専攻していました。が、こんなにも早く、目標とする地で勤務するとは思いませんでした。はじめは不安でした。しかし、病院へ行ってみると、町の皆さんやスタッフが暖かく迎えてくださり、少しでも皆さんが安心して毎日が送れるように支えたいと思いました。

飯南病院で働き分かったことは、「地域医療は目の前の患者さんだけでなく、家族や住んでいる地域、交通手段や気象条件等多くのことを考える必要がある」ということ。例えば、高齢で雪の中、外来に来るのが難しそうなときは、状態が許せば暖かくなってからに調整したり。一人暮らしができていた人が、入院で一人暮らしができなくなってしまう時、近所の人の協力や家族間で調整をして、自宅での生活が維持できるようにしていました。

飯南
病院

飯南町の
皆さんへ



島根県立中央病院
総合診療科 上野伸行

るのか。それは、飯南病院や各サービスに関わる人、家族が、みんな同じ方向を向いているからだと思います。どうしても患者さんにとって最も良いかをそれぞれの立場で真剣に考えています。病院が大きくなればなるほど、住んでいる地域が都市になればなるほど、細かい調整はしにくくなります。その点、飯南町はぎゅつとまとまってきた質の高いサービス提供ができています。

最後に
飯南病院の先生は皆さん総合診療医です。病気だけではなく、どんなことでも、困ったことがあれば相談できる先生です。「こんなことを先生に聞いて良いのかな」と思うこともでも勇気をもって聞いてみてください。

6カ月間という短い間で、飯南病院の一員として働かせていただきました。また、皆さんとお会いできるその日まで日々精進します。その際には、またよろしくお願ひします。ありがとうございました。

保健福祉
センター

飯南町で初開催
難病ボランティア養成講座

町内で「難病」指定を受けている方は約50名。

平成29年4月から、町内でも難病サロン「ほのり。」が開かれています。サロンに合わせ、難病を正しく理解し、どう支えていくかを学ぶため、雲南保健所と町社会福祉協議会の協力で、今回の講座が開催されました。

はじめに、島根県立大学副学長の山下和也先生から、主な疾患である、パーキンソン病、筋委縮性側索硬化症(ALS)、全身性エリテマトーデス(SLE)の3疾患の、基礎的

な知識を学びました。また、ボランティアとして「病気の理解はもとより、薬が効かなくなった時や副作用を理解することが大切だ」と話がありました。

特にパーキンソン病は、満足感や意欲を持つと、症状が軽快するといわれ、支える側の働きかけが重要です。

患者さんの体験発表では、自分が一番不幸せだと思っていたつらかった日々、笑えなかった5年間、しゃべること、笑うことができなかった日々。旦那さんに思っていることを話することができてから、楽になったそうです。

「今は、病気をしたから感謝する。感謝すると感謝される。できることをできるだけやっていきたい。経験が自分を作る。これからも可能性に挑戦していきたい」と話されました。

最後に、お孫さんの歌に勇気づけられたという「カレンダーマーチ」を、「一年後、またみんな元気で会いましょう」と参加者全員で歌いました。

難病だから、接するのが難しそう…などと肩ひじを張らずに、できないことを手伝う、まずは「傾聴」からです。



こんにちは
中山間地域研究
センターです。

センター図書室
にお越しください!

●中山間地域研究センター
電話 0854・76・2025
<http://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/>

中山間地域研究センターに併設している図書室は、町民の皆さんをはじめ、どなたでも利用できます。

常設図書は、農林畜産業や中山間地域関係の少し硬めの内容の本を豊富に取り揃えています。また、絵本や自然科学の本、大人向けの小説などバラエティーに富んだ図書100冊を、県立図書館から借りて、3カ月おきに更新しています。図書室の本は、誰でも借りられます。



図書室開室日
日曜日～金曜日
(土曜日、祝日、年末年始は閉室)

図書室開室時間
9時～17時

貸し出し
一人5冊まで、21日間(3週間)借りられます

●図書室の情報は、センターホームページに掲載しています

今年度も引き続き、よろしくお願いします

飯南町では、公民館単位の5地区に1名ずつ「集落支援員」を配置しています。

地域で抱えている課題は違いますが、これらの課題の解決や、その地域で住み続けるための取り組みを、地域の皆さんと一緒に考えています。【例：①生活機能の確保(買い物支援や高齢者見守りなど)、②生活交通の確保(自治会輸送、デマンドバスなど)、③地域産業の振興(特産品開発や交流事業の推進など)】また、地域活性化の取り組みや、地域の皆さんと行政をつなぐ橋渡しの役目も担っています。

志々地区では小さな拠点づくりを進めるため、「小さな拠点づくり支援員」を引き続き配置しています。「小さな拠点づくり支援員」は、さつき会館別館で月2回開催される陽サロ2号店

や、日用品販売スペース「ささえさん」の運営に携わっています。

また、ボランティアの皆さんと一緒に、高齢者の見守り活動も毎月実施しており、今後もみなさんの日常生活を支える取り組みを展開していきます。



服部恵子
集落支援員(順原)



金藤正道
集落支援員(赤名)



桐原 敏
集落支援員(志々)



澤田定成
集落支援員(谷)



朽木宣夫
集落支援員(来島)



渡部佳子
小さな拠点づくり支援員



森の たより

森林セラピーガイド養成講座

3月10日、11日の2日間、「森林セラピーガイド養成講座」を開催し、19歳から53歳までの男女計11名が、受講しました。



AEDの使用方法を勉強



スノーシューをはいて
森の中へ

春が旬の山菜たち

森林セラピー博学講座
やつと雪も解け暖かくなってきたのに、なぜか体がだるい。そんな人も多い初春。これは冬の間に体に溜まった老廃物や脂肪のせいかも……。昔から「春には苦味を盛れ」といわれているように、この体の不調を整えるのが山菜です。セラピーロードにも、ふきのとう、たらのめ、こごみ、コシアブラの

町の歴史や文化、自然、森林セラピーの沿革などの座学のほか、実地訓練として、もりのす周辺のまだ雪のあるセラピーロードをスノーシューをつけて歩き、危険回避の方法や救急救命法を学びました。
春を迎え、森の緑もきれいな季節です。森林セラピーガイドとなった皆さんの活躍が楽しみです。

新芽など、特有の香りや苦味の強い山菜が顔を出します。これらには、抗酸化力の強いポリフェノール群が多くふくまれ、老廃物や脂肪を排出してくれます。
冬眠から目覚めた熊は、最初に「ふきのとう」を食べるといわれています。さすが、熊さん。自分で体調管理ができていますね。

短歌

頓原公民館短歌教室 三月詠草

老木と言つには若き寒紅梅ひらき初めたり漂と立つべく	藤原 正
春待てど叶わぬことよ雪の山花待つ桜氷花を魅する	岡田 繁富
目標の百花繚乱なしとげぬ日本選手の「金・銀・銅」花	片岡 千鳥
新入幕の阿炎阿修羅の如く燃えしかと若き力士の肉が波打つ	千葉トミエ
細き身に日本をせ負い羽生ゆづる強く激しく魂を舞う	景山サチ子
門道の除雪の残る花壇にも雑草芽生え元気をもらう	三上 朋子
朝な朝な「血圧のタイム」老い夫と数値を覗き「喜・憂」す	熊谷 允子
家々の灯りも見えぬ雪の壁今宵も積もるか灯りの恋し	景山 牧栄
残雪の光る山々遠くして雪の川辺に鴨は春待つ	本間 啓美
凍てし日に逝きたる山羊は足そろえ十三年を謝すごとと眠る	石川 隆
平昌の熱気溢れる声も消え凍つく夜が帰つてくるまた	安部 徳則
バレンタインに孫より貰うチョコと服妻と味わい良く似合うわね	山本 正敏

やすらかに

3月届出分

お名前	親族	地区
安部 浩 様 (80)	賢 野 郷	
鹿田 恒代 様 (92)	明 浩 西	
中村 信正 様 (96)	裕 子 (下赤色)	
山本 タツミ 様 (87)	弘 和 (真木)	
那須 進 様 (87)	彰 和 (川東)	
木村 正法 様 (97)	毅 (下赤色)	
笠岡 光 様 (84)	伸 次 (谷)	
金築 喜代恵 様 (84)	久 之 (小田)	
和田 ヤスコ 様 (86)	茂 幸 (真木)	
立脇 豊 様 (89)	康 雄 (角井)	

今日の表紙

4月から青色のバスが町内を走っています。3月31日、88年の歴史に幕を閉じた三江線。その代替交通の一つとして、JR西日本からの負担金を財源に購入した車輛です。
4月12日は、恒例の赤名小学校交通安全パレード。大きなバスに大興奮の新1年生のみんなと一緒に。



今日の人権標語

「家族でつくる人権標語」優秀作品から

どうしたの？
だいじょうぶ？
きいてくれるだけで
うれしいよ

みしま はるの
頓原小2年 三嶋 遙乃 さん
家族名 三嶋 圭子 さん

標語に込められた思いを町民みんな意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。

平成30年7月 大しめ縄かけ替え



飯南町注連縄企業組合では、昭和30年代より出雲大社神楽殿の大しめ縄を制作しています。今年は7本目のかけ替えとなります。

気になる大しめ縄の制作行程を、3回に分けて紹介します。

■問合せ
国道54号活性化アクションプラン推進協議会
(い〜にゃん人つなぎ協議会)
電話76・2864 (地域振興課)

はじめに

出雲大社神楽殿の大しめ縄は、長さ13.5m・重さ4.5tを誇ります。昭和56年、現在の神楽殿が竣工し、その大きさに合わせた結果、日本最大級となりました。以降、稲佐の浜からの潮風や雨風による傷み具合に合わせて、数年ごとに新調かけ替えが行われています。

全ての行程で使用する稲ワラの量は1.5ha分です。

行程① 吊り木の伐採・搬出

町内産のヒノキを伐採し、傷つけないよう輸送します。4.5tに耐える元口65cm以上かつ高さ20m以上の真っ直ぐ成長した木でなければいけません。また、搬出時短く切り分けることができないため、倒す角度や伐採する木の選定は容易ではないとのこと。

行程② 中芯づくり

大しめ縄の大元となる中芯は、コシヒカリのハデ干しワラとしめ縄専用ワラを使って、長さ16m・最大直径1.5mを2本作成します。

行程③ 菰(こも)編みと菰つなぎ

中芯を巻く外側の菰を作るために菰を束ねます(菰編み)。そして先代より継承する独自の技術で、編み込んでいきます(菰つなぎ)。



次号につづく！

まちのスケジュール

2018年 平成30年 5月分
 ■教育 ■健康・保健 ■文化・体育 ■その他



日	月	火	水	木	金	土
4 昭和の日 29	4 振替休日 30	1	2	憲法記念日 3	みどりの日 4	こどもの日 5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	各保育所 地域開放日	行政相談 (さつき会館)	親子遠足 (赤名保育所)	親子遠足 (さつき保育所)	頼原・赤来中 授業公開日・PTA総会
16	17	18	19	20	21	22
町小学校陸上大会 (頼原町民グラウンド)	レコードコンサート (交流センターとんぼら) 18:30~20:30	田植え体験 & 交流 イベント (クラインガルテン)	25	26	27	28
ぼたんまつり	来島小 授業公開日	親子遠足 (来島・桜ヶ台保育所) はびご無料結婚 相談会(飯南町役場) 18:30~予約制	6/1	6/2	6/3	6/4
きじまさんぽ (来島公民館)	28	29	30	31	6/1	6/2

し尿汲取り日		資源物		金属類・粗大物		ガラス類
汲取り地区	汲取り日	収集地域	収集日	収集地区	収集日	収集日
頼 原 々	7日(月) 9日(水)	頼 原	16日(水)	頼 原 連 担 地	28日(月)	14日(月)
赤 名	1日(火) 2日(水) 19日(土) 22日(火)			八 神 連 担 地	30日(水)	16日(水)
来 島	11日(金) 14日(月)	赤 来	23日(水)	頼原・八神連担地以外	29日(火)	15日(火)
				赤 名 連 担 地	21日(月)	7日(月)
				来 島 連 担 地	23日(水)	9日(水)
				赤名・来島連担地以外	22日(火)	8日(火)

[頼原地域] 電話72・1401 [赤来地域] 電話76・2441

[いいしクリーンセンター] 電話72・9217

※決められた日時をお守りください。

●町の人口4,940人(前月比-50人) ●男性2,292人 ●女性2,648人 ●世帯数2,041戸 H30.4.1 現在

広報 いーなん 4月号

小さな田舎からの「生命地域」宣言
 笑顔あふれるまち 飯南町



スマホで広報紙を
読みませんか？